こんにちは！

金井ひろしです。

区政報告レポート vol.1

District Administration Report & Activity Report

連絡先　〒152-0032 東京都目黒区平町 1-21-20-303
TEL 080-5195-2909
E-mail：　kanai.hi64@gmail.com

ホームページ
facebook
ツイッター

Official Web Site URL：https://r.goope.jp/kanaerukanai/

立憲民主党

誰もがともに学び、育ち、「共に生きる！」

当選して、すぐに区議会で質問に立ちました

暑さの季節です。みなさん、お元気ですか。金井ひろしです。

４月の目黒区議会議員選挙で、みなさんのご支持を頂戴し、当選させていただいてから、ほぼ２か月後の６月18日に区議会本会議で「一般質問」をしました。

我が会派「立憲民主・目黒フォーラム」に区議会議長から与えられた質問時間は75分でしたが、先輩議員たちは区政監査の仕事で忙しく、そこで新人議員のわたしが「一般質問」をしたいと申し出ました。わたしには45分の質問時間を会派から振り分けられたのです。あとの30分は同僚議員の鴨志田りえさんが質問をしました。

「一般質問」とは、「議員が区政に問いたいテーマを問う」質問です。そのテーマは各議員個人が自由に決められるのです。

そうであれば、わたしには区政に問いたいことがいっぱいあります。

なぜなら、選挙運動を通して、多くの目黒区民のみなさんから、お話・ご相談・ご要望などをお聞きしましたし、わたし自身も若いときから障害者支援や、子供会活動等のボランティアをしてきたからです。そこで知ったことや考えたことは実に多く、それらの問題を何とか区民にとってより良い制度にしたいと、わたしは区議会議員選挙へ立候補したのです。

したがって、どのような質問をするのかは、はっきりしています。

まずは選挙で目黒区民のみなさんへ訴えてきた「障害児と障害者、そして医療的ケアを必要とする人たちの支援」と「子育て世代としての保育問題」を、目黒区長へ質問することにしました。これはあまりにも当然の質問選びです。言うまでもありません。選挙で訴えたことを区議会で質問し議論するのが区議会議員の第一の仕事です。

区議会本会議で質問するためには「質問通告」という文章を提出する手続きがあります

わたしは新人議員ですから知らない事がたくさんあります。一般質問するためには「質問通告」という文章を、区議会事務局へ提出しなければなりません。しかしながら、どのように「質問通告」を書けばいいのかを知りませんでした。そこで先輩議員におしえてもらって「質問通告」を書いたのですが、それを提出するだけで手続きが終わるわけではなかったのです。

目黒区長への質問なのですが、区長が正確な回答するために、目黒区役所が数字などのデータを用意する。そのためには区役所の部長や課長など幹部の方々と「質問通告」をベースにした「意見調整」をしなければなりません。

この区役所の幹部の方々との「意見調整」では、質問項目についての詳細な説明がもとめられます。区役所としては区長から正確な回答をしてもらいたいから、質問項目についてよく知りたいわけです。

新人議員としては、区役所の幹部の方々と話をするのは、正確な回答をえるためだけではなく、たしかに区政についての勉強にはなるのですが、「意見調整」ではなく「事前調整」をしている側面があるようにも思えました。

民主主義の議会は、区議会にかぎらず国会でも手続きが大事だということは、理解しているつもりです。民主主義は時間がかかるものです。しかし、このような区議会の複雑な慣例を、区民のみなさんはどう思われるだろうかと、わたしは考えてしまいました。

さぁ、本会議で質問開始です。その日は朝から緊張していました。

いよいよ６月18日（火）。区役所５階の議場で本会議が始まり、次々と各会派の「一般質問」が続きます。そして、副議長（議長は議長会・公務のため欠席）がわたしの質問を許可すると告げました。私は議場の演台にあがります。目の前には全議員が議席についていて、傍聴席には10数人ほどの区民のみなさんがいるのを確認しました。わたしの選挙を応援してくれた仲間もたくさんいます。実は初めての質問ということで、わたくしの14歳の長女も傍聴席にいました。中3の娘がパパの議会デビューを傍聴席から観るなんて、かなり稀有、マレ。金井ひろしはウルウルとしてました。

そして、演台に立つと、もの凄い緊張におそわれましたが、心を落ち着けて、質問を開始しました。

1. 最初の質問は「障害児・障害者、医療的ケアを必要とする人たちの支援について」です。

わたくしの第１問は「医療的ケアを必要とする児童の、居宅介護、移動支援、児童発達デイの数、訪問入浴など支援の現状について」の質問でした。

区長は「福祉サービスとして居宅介護、移動支援、巡回入浴サービス、在宅レスパイト事業は行っている。来年度から児童発達支援及び放課後デイサービスを開始する」と現状を回答し、こう強調したのです。「支援制度の充実を掲げ、医療ケア児支援関係機関協議会を昨年設置、家族も構成員となっている」。この協議会の構成員に家族を入れている東京特別区は、それほど多くないようなので、目黒区は家族を構成員に入れていると強調したわけです。

しかし、わたしに言わせれば、当事者である家族を構成員にするのは、どう考えても当たり前です。目黒区は当然のことをしているだけで、他の区がやっていないからといって、わざわざ強調するようなことではないと思いました。

2. 第2の質問は「誰もがともに学び、育ち、共に生きる」具体的な政策提案です。

具体的には「障害のある子も医療的ケアが必要な子も健常な子も、もちろん日本人も外国人も、ともに地域の学校で学べる制度」をつくることです。この考えは、わたしが社会運動に参加する原点になったことであり、ライフワークになっています。「どの子も地域の学校へ」。この制度による就学が可能になれば、多様性のある子供が育ち、同時の多様性のある

地域社会が生まれると考えるからです。激動する国際社会のなかで日本の未来をつくるのは、多様性のある若者たちであり、多様性のある日本社会です。そのためには、この世の中に生きる人間はひとりひとり個性がちがうということを、同じ学校で日々学びながら、当たり前のこととして自然に認め合い育っていくことが、どうしても必要です。多様性を身につけるために外国語教育も必要でしょう。しかし幼少期に育まれる人間の芯に多様性をもたらすためには「どの子も地域の同じ学校へ」という制度づくりが必要です。このわたしの意見を表明し、目黒区の見解を知りたかったのです。

目黒区教育委員長が回答しました。「本人と保護者との就学相談を丁寧におこない、本人の障害の状態や教育的ニーズ、専門家の意見、学校や地域の状況などを総合的に判断し、児童・生徒ひとりひとりの持つ能力や可能性を最大限伸ばすことができる就学先を保護者に提示いたします」「医療的ケアが必要な児童・生徒の就学先といたしましては、職員体制や設備面を考慮し区外の学校となっている。しかしながら、看護師の配置などにより、通常の学級に就学する例もございます」「今後も本人と保護者の意見を可能なかぎり尊重し、丁寧な合意形成に努めてまいりたい」という内容の回答でした。

この回答は現状を正確に説明するものであり、それは良いと思いますが、わたしの近未来を見すえた意見に答えたものではありませんでした。しかし折につけ、わたしは何度もこの意見を表明し実現していきたいと思いました。

3. 知的障害者の自立に向けて、重度訪問介護につていの質問です

わたくしの７年におよぶ重度の知的障害者との自立生活支援の経験をふまえて、目黒区では知的障害者の自立に向けて、重度訪問介護を決定している事例について質問しました。

区長の回答は「本区におきましては、重度の知的障害者で重度訪問介護の支給決定となっている方はおりませんが、知

誰もがともに学び、

的障害者の自立に向けて居宅介護や移動支援、短期入所サービスを利用しながら、社会参加と自立を促進するために、通所施設における働く場や日常活動の場を提供している」として「障害のある方がひとりひとり地域で必要なサービスを受けながら日常生活を送れるよう、相談、支援の充実を図るとともに、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性が尊重される地域社会の実現を目指してまいります」というものでした。この姿勢は当然といえば当然なのですが積極性を評価できると思います。しかし具体的な政策がないのは残念でした。

4. 子育て世代として学童保育クラブについて質問しました

今年から医療的ケアが必要な児童の学童保育クラブへの受け入れが可能になったことは大きな前進と評価し、そのうえで今後のニーズの分析、増設対応の具体的な方法について知りたく質問しました。

区長の回答は具体的な事例を示しながら現状と見通しを表明するもので、それらのことは区役所に聞けばわかることばかりです。今後の具体的な展望については「教育委員会と調整しながら、放課後の教室を利用したタイムシェア方式で受け入れ可能児童数を増やしていく」という物足りない回答でした。区長はもっと子育て世代と子供の現実について知るべきであり、積極的な政策を立てる必要があると思いました。

5. 保育園ついての不安解消のために、重要なふたつの問題を質問しました

各地域にある「企業主導型保育所」の実態が見えにくいので、有効活用するために目黒区の独自の監査体制をつくるべきだと提案する質問がひとつ。もうひとつは、2020年に待機児童がゼロになる見込みと区役所は言っているが、たとえば３歳という年齢上限制限のある小規模保育所と認証保育所があり、３歳以降の預かり先拡大を見据えた計画なのかという質問をしました。

区長は、またもや現状の説明に時間をついやして回答します。ひとつ目の質問には「企業主導型保育所の創設から３年がたち、様々な課題があきらかになってきたことから、これまでの事業内相を検証し、より円滑な事業実施のための改善策を検討する」と答えました。ふたつ目の質問には「連携施設園について、認可保育所への移行の相談をうけた際には区としても支援したまいります」という回答でした。これらの回答についても、その姿勢は当然すぎるほど当然ですので、より具体的な政策を知りたいと思いました。

議会は議論の場なので、区長の回答に対して「再質問」ができます

区長と区役所の回答は、正確さを意識するあまり現状説明が長いのです。それは大切なことだとは思いますが、わたしが議論したいのは問題解決へと具体的に前進していくことです。議論のための「再質問」は５つしました。

①「障害児、障害者、医療的ケアを必要とする人たちの自立を、どのように考えているのか」
②「目黒区民センター児童館の学童保育クラブの室内プレールームが保育室になり、児童の室内遊び場がなくなったので、すみやかに学童保育クラブを設置し、プレールームを児童館へ戻したらどうか」
③「今年度は学童保育クラブの非常勤職員が49名増員されたが、なぜ、それだけの大人数が確保できたのか」
④「企業主導型保育園と自治体の連携強化をはかり、今後の保育行政に活かしてほしい」
⑤「待機児童ゼロへ向かってはいるが、子育て世代はまだリスク・ゼロとは言いがたく安心していない。この不安を解消する方策を考えているか」という５つの再質問です。

区長の回答は、どの再質問についても「ご説ごもっとも」としか言いようのない模範的な回答でした。くわしくは、わたしのホームページに詳細を発表していますが、再質問をして議論が前進したかといえば、それは残念ながらなかったと思いました。

初めての本会議での一般質問は、緊張しましたが区民のみなさんの代表として、質問して現状をあきらかにし、主張すべきことは主張するという議員としての責任を、最低限はたすことができたと思います。

区議会には、さまざまな民主主義のルールがあり、慣例があることも身をもって知りました。慣例については、形骸化しないように常に考えるべきだと思いました。

そのためには、区民のみなさんの気持ちを絶対に忘れてはならないのです。区民のみなさんの生活目線で議員は議会活動をするのだという原則を、あらためて肝に命じました。

今後も本会議でチャンスがあれば必ず質問に立ち、区民のみなさんの気持ちを区政にぶつけていきたいとの思いを固めた初めての一般質問でした。

育ち、「共に生きる!」

立憲民主党

当選御礼にかえて ～選挙戦をふりかえる～

金井ひろし

ありがとうございました。おかげさまで「誰もがともに学び、育ち、共に生きる」を訴えて戦った４月の統一地方選挙・目黒区議会議員選挙で初当選ができました。心よりお礼申し上げます。

区民のみなさんがわたくしに託された投票数は1978票でした。しかしこの1978票に込められた区民のみなさんの声は数字ではないのだと、わたしは考えました。生活者のために、よりよい区政をしてくれという区民のみなさんの声は、得票数よりもはるかに大きく切実な声だと思っています。また、この得票数には、わたしの街頭演説を聞いていただき、フライヤーを読んでくださった中学生や高校生のみなさんが含まれていませんが、しかしまだ選挙権をもたない若い人たちの声まで混じっていると、子育て世代のわたくしは認識しています。

わたしの訴える「誰もがともに学び、育ち、【共に生きる】」というスローガンは、生まれたばかりの赤ちゃんから高齢者まで、すべての人びとがよりよく生きられる地域社会をつくろうという主張です。いや、まだ生まれていない近未来の目黒区民や、これから目黒区で生活をする人びとまで含めた、「誰もが」なのです。

そんな理想を訴えても政治は現実なのだから甘いものではないと言う人もいるでしょう。もちろん政治は現実を改革していくためのものです。現実を認めて現状維持をするためのものではありません。「誰もが」が安心して生活できる現実の地域社会をつくることが、わたしの目的です。

そのためには希望をもって、困難な現実の改革に取り組む政治文化運動をするしかないと、わたくしは考えています。理想を実現するための道のりは、ひたすら困難を乗り越えて、１ミリでも２ミリでも前進し改革を実行していく以外にありません。その人びとの勇気と情熱を、区民のみなさんが、わたしに託してくださったのが、今回の区議会議員選挙であったと考えています。「共に生きる」区民のみなさんと、よりよい区政を実現し、安心して生活できる地域社会をつくろうという決意をあらたにした選挙戦でした。どうぞ今後とも、区民のみなさんの声を金井ひろしへ、どしどしと届けてくださるようお願い申し上げます。

14歳の娘が議会を傍聴して感想を伝えてくれました。

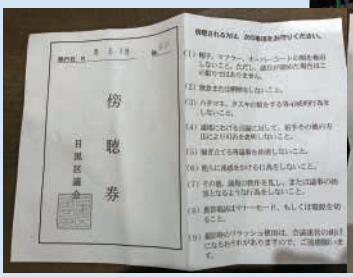
４年前の選挙も今回の選挙も、周りの友達にあまり知られたくないと思うくらいで、特に反対する理由などありませんでした。そのため、選挙に出るからには○○さんたちには負けないでね、とだけ思っていました。

６月18日、父から“議会を行う場所”と“受付の仕方”を書かれたメールが来ました。正直言ってインタレストも何もないので、行く気にはならなかったです。けれど、たまには親を慈しむのも子としてのミッションかもしれないと思い、区役所に足を向けました。

５階の区議会事務局に行き、クエスチョンを持った視線を向けられながら受付を済ませ、傍聴席へ向かいました。

「区議会議員」と聞いたって、何をメインに活動しているのか全く分かりませんでした。しかし、壇上に立ち質問をする議員さんたちを見て、こうやって市民の声となっているのだなと感じました。

父に一つだけ願いをするなら、この文章のようにどこかの誰かさんみたいに、無駄にカタカナを入れて質疑するのは避けてほしいです。



金井ひろし プロフィール

1973年3月19日生まれ　AB型サウスポー

幼少期を足立で過ごし高校卒業後から目黒区在住。７年間知的障害者との共同生活を送り、地域で生きる事の意味を考える。現在介護福祉士として障害児・者を支援。二児の父。下の娘が気管切開をしており、医療ケアを必要とする子ですが、今はひもんや保育園に在園。

○NPO法人はちくりうす 前理事長　○目黒区保育園父母の会連絡会 前会長（父母連）

○目黒区学童保育連絡協議会 前役員（区連協）　○目黒区保育問題協議会 前役員（保問協）　○自由が丘子ども会 代表

趣味：ピアノ・ギター・海釣り・子ども会活動・読書・築地市場巡り

委員会について

目黒区には４つの委員会があります。区議会で取り扱う事項は、数が多く内容も幅広い分野にわたっています。そこで、これらをいくつかの部分に分けて、専門的、能率的に審査・調査するために委員会を設けています。

委員会には、常時置かれている常任委員会と議会運営委員会、必要に応じて設置される特別委員会とがあります。

議員は、少なくとも一つの常任委員会に所属することになっています。

私はまず、生活福祉委員会に所属し活動しております。４年任期なので、大体の議員が各委員会を１年毎に持ち回ることが多いそうです。確かに、専門的に深めることも重要ですが、様々な分野を見渡すことも必要と考える議員も多いようです。私も、いろいろと見たい性格なので、一年毎に委員会を変えていこうと今から思っております。

★生活福祉委員会★

区民生活部、健康福祉部、福祉事務所（子ども家庭課及び保育課を除く）及び保健所に関する事項

企画総務委員会

企画経営部､総務部、会計管理室、選挙管理委員会及び監査委員に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項

都市環境委員会

都市整備部及び環境清掃部に関する事項

文教・子ども委員会

子育て支援部、福祉事務所子ども家庭課及び保育課並びに教育委員会に関する事項

活動報告

活動報告ですが、個人・議員としてごちゃっと徒然なるままに書き記していきます。

【個】⇒個人的な活動　【議】⇒議員としての活動、公務

《5月》

５日㈰　選挙管理委員会へ収支報告提出【議】
７日㈫　CANめぐろ【個】
８日㈬　参議院選挙　斉藤りえ選対【個・議】
９日㈭　自由が丘子ども会・地引網案内を自由が丘東急に置かせてもらう【個】
10日㈮　医ケア報告会(目黒区役所内大会議室。区内の様々な事例、アンケート調査を通して、今後どのような支援が必要なのかを検討)【個】
13日㈪　自由が丘駅朝の駅頭【議】
14日㈫～15日㈬　議員総会【議】
16日㈬　児童相談所新人勉強会【議】
17日㈮　議員総会【議】
19日㈰　自由が丘大行進【個】
20日㈪～22日㈬　議員総会・各派連絡会【議】
24日㈮　臨時議会　集合写真【議】
25日㈯　大岡山小学校　運動会【議】
26日㈰　柿のたね(三浦海岸下見)【個】
27日㈪　土地公社委員会【議】
28日㈫　三田フレンズ保育園内覧会【議】
29日㈬　常任委員会【議】
　　目黒区商店連合会総会【議】
30日㈭　特養開所式
　　参議院選挙　斉藤りえキックオフ【個・議】
31日㈮　大岡山駅頭【議】
　　自由が丘子ども会　地引網締め切り【個】

《6月》

１日㈯　第8中学校運動会【議】
　　緑が丘小学校運動会【個】
　　碑小学校運動会【議】
３日㈪　議員総会【議】
　　情報公開・個人情報保護審議会【議】
　　自治体議員連絡会【議】
　　塩村あやか選対準備【議】
　　CANめぐろ【個】
６日㈭　一般質問締め切り【議】
７日㈮　わくわく子どもまつり広告案内【個】
10日㈪　大岡山駅頭【議】
　　教育委員会面談【議】
　　議員総会【議】
　　ポーランド国交100周年記念コンサート【議】
11日㈫　障害福祉課面談【議】
　　わくわく子どもまつり広告案内【個】
12日㈬　常任委員会【議】
15日㈯　自由が丘子ども会　地引網前日準備【個】
16日㈰　自由が丘子ども会　地引網【個】

～過去最大の320名の参加者～

今年で11年目となる地引網。毎年参加者が増え、今年は過去最高の参加者320名、スタッフは30名ほど。総勢350人の大BBQ大会。「ん？網はどうした？」「ハイ、これが前日までの嵐により、天気は最高に良かったものの、波風が高く、船が出ない＝網だけは中止。」しかしながら、それにめげないのは子どもたち。波打ち際で海を楽しんでいたり、貝殻拾いを楽しむ子もいました。そして、BBQが終われば、【宝探し】とおやつ代わりの【スイカ割り】主催者として、網が引けずに残念でしたが、毎年本当に楽しみにしてくれる親子がいるので来年も開催いたします！

17日㈪　本会議【議】
　　議員総会【議】
18日㈫　本会議　一般質問デビュー【議】　**本文参照**
　　わくわく子どもまつり実行委員会【個】
19日㈬　本会議【議】
　　議員総会【議】

20日㈭　常任委員会【議】
21日㈮　常任委員会【議】
参議院選挙　斉藤りえ選対【個・議】
日韓親善協会総会【議】
22日㈯　目黒区体育祭閉会式【議】
24日㈪　立憲パートナーズ集会【議】
26日㈬　角田市確認　教育委員会及び過去定例会【議】
わくわく子どもまつり事務局【個】
28日㈮　本会議【議】
委員会報告【議】
29日㈯～30日㈰　新潟・法事【個】

《7月》

１日㈪　情報公開・個人情報保護審議会【議】
CANめぐろ【個】
２日㈫　角田市について報告　緑が丘小学校校長、副校長、PTA【議】
３日㈬　おまつり広場・緑　実行委員会【個】
19の会(新人議員連)懇親会【個・議】
４日㈭　参議院議員　公示＆ポスター貼り with 宇田さん【議】
参議院選挙　斉藤りえ選対【個・議】
５日㈮　奥村まさよし候補（おっくん）自由が丘→学芸大学応援【議】
６日㈯　緑が丘保育園納涼会(わたがし)【個】
７日㈰　参議院議員　証紙貼り【個】
パーシモンホールほたる祭り 前説【個】
柿のたね夏合宿実行委員会【個】
８日㈪　金沢市・氷室の雪氷　表敬訪問【議】
９日㈫　緑が丘小学校おはなし隊【個】
10日㈬　常任委員会【議】
わくわく子どもまつり事務局【個】
11日㈭　三区間交流事業選手壮行会【議】
12日㈮　陳情（障害を持つ親たちとのMTG）【議】
柿のたね夏合宿実行委員会【個】
14日㈰　奥村まさよし候補(おっくん)デイ【議】
15日㈪　山岸一生候補デイ【議】
16日㈫　「道草」上映会＆監督対談【個】
17日㈬　議員総会【議】
わくわく子どもまつり学芸大学商店連合会【個】
19日㈮　参議院選挙　斉藤りえ応援【個・議】
20日㈯～21日㈰　学童保育キャンプ【個】
参議院選挙　斉藤りえ開票見守【個・議】
23日㈫～26日㈮　韓国・友好都市調印式＆三区間交流事業【議】

2013年から準備を進めてきた、中国北京市東城区、韓国ソウル市中浪区、そして目黒区の三区間。文化交流、スポーツ交流を通じて相互理解を深めることを目的に、草の根レベルで続いてきた事業の総決算となる調印式。そして、各区選抜バスケットチームの親善試合が行われました。また、私たち議員連盟は区役所の裏側、様々な施設の裏側を見聞きできるとてもいい機会となりました。現在、国と国が緊張感が高まる中において、市民レベルで交流を絶やしてはいけないという思いもありました。実際に行ってみれば、不買運動・反日はありませんでした。報道とのギャップに驚かされました。

27日㈯　柿のたね夏合宿実行委員会【個】
区政報告会準備【議】
28日㈰　区政報告会（中目黒住区センター）【議】

当日は、梅雨が明けて初めての週末にもかかわらず総勢22名の方々にお越しいただきました。まず、その前週に終わった参議院選挙の総括を手塚よしお衆議院議員からいただきました。候補者擁立の苦労、選挙戦の難しさ、厳しさ、普段伺いしることのできない話を頂きました。その後は質疑応答。

次に金井ひろしは当選後何をしてきたのか、また一般質問に至る経緯や、質問通告した後からの幹部職員の動きなどなるべく知る限りのことは報告させていただきました。タウンミーティングでは様々な叱咤激励を頂きながら外の気温に負けないくらいの熱い場となりました。最後に、発信の不安定さにお叱りも受けております。徐々に発信力を高めて漏れなくいきわたるようにいたしますのでご容赦ください。

29日㈪　DOT JP（学生インターン）打ち合わせ【議】
30日㈫　廃棄物減量等推進審議会【議】
福祉事業団運営委員会【議】
※同時刻にバッティング、初のケース。優先順位は審議会→外郭団体の委員会とのことで審議会に出席。
31日㈬　わくわく子どもまつり実行委員会【個】

《8月》

２日㈮　生活福祉委員会視察（区内の福祉施設及び臨海斎場）【議】
３日㈯～４日㈰　柿のたね夏合宿in三浦海岸【個】

インターンと今後の活動予定について

このたび、３人の学生インターンシップの方たちと９月末まで活動することになりました。３人とも大学２年生、イケメン３人組。金井ひろしの足りない部分を補完してくれそうです。

８月21日㈬から朝の都立大学駅頭再開します。また、平日夕方、週末についてはFacebook、ホームページで告知いたしますのでよろしくお願いいたします。

今後の予定

８月22日㈭　めぐろおいしい子ども食堂（上目黒住区センター・18時～）
９月５日㈭　本会議　13時～
９月６日㈮　本会議　13時～

９月９日㈪　本会議　13時～
９月10日㈫　常任委員会　10時～
９月11日㈬　常任委員会　10時～
９月17日㈫～９月25日㈬　決算特別委員会
９月26日㈭　施設見学会（※廃棄物の審議会の公務）
中央防波堤埋立地等を回ります。
９月29日㈰　めぐろわくわく子どもまつり
（鷹番小学校・10時～）
９月30日㈪　本会議
10月５日㈯　100年ライフ・大介護時代を
（区役所大会議室・14時～）
10月13日㈰～14日㈪　自由が丘女神まつり（白山眼鏡店前にて自由が丘子ども会ブースあり）
10月18日㈮　李政美（イジョンミ）コンサート
10月22日（火・祝）　青空マーケット（圓融寺11時くらい～、金井はわたがし回します）
10月27日㈰　おまつり広場・緑（緑が丘小学校10時くらい～、金井はわたがし回します）
10月30日㈬　廃棄物減量等推進審議会（区役所18・19会議室　10時～）

※１　本会議、決算特別委員会、審議会はどなたでも傍聴できます！
※２　他にも、CANめぐろ、保育問題協議会、目黒区保育園父母の会連絡会、オールめぐろ等で活動しております。
※３　今後は本会議終了後に区制報告、活動報告はしていく予定です。